※コピーしてお使いください。また「在職者訓練受講申込書」はホームページからもダウンロードできます。

在職者訓練受講申込書

港湾短大校神戸校　あて

（港湾職業能力開発短期大学校神戸校）

FAX　078-303-7335

在職者訓練について、下記のとおり申し込みます。　　年　　月　　日

コース番号	コース名	コース開始日	フリガナ 受講者氏名	生年月日（西暦）	就業状況※1	備　考
記入例 C411	機械設計のための総合力学	●月●日	コウワン　タロウ 港湾　太郎	19●●年 ●月●日	①正社員 2. 非正規雇用 3. その他（自営業等）	機械設計業務 ８年
					1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他（自営業等）	
					1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他（自営業等）	
					1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他（自営業等）	

※１就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

- 応募者が少ない場合はコースを中止させていただく場合があります。また、やむを得ず日程を変更する場合もありますので予めご了承ください。
- 受講料は、消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。
- コース開始日14日前（土日祝日含む）を過ぎてからのキャンセルは受講料を全額ご負担いただきます。
- 納入された受講料を他のコースへ振り替える（流用）ことはできません。
- セミナーを実施するうえでの参考とさせていただくため、お申込みされたコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差支えない範囲で備考欄にご記入ください（例：切削加工作業に約５年間従事）。

受講区分（該当に☑印）	
□　会社	□　個人

●「個人」でお申込みの方は「（2）個人でお申込みの場合」の欄に必ずご記入をお願いします。

（1）会社からの指示による受講の場合

法人名		事業所名	
法人番号		（法人番号がない場合は、以下の該当に○印） 1．団体、　2．個人事業主、　3．個人	
ご連絡先	下記ご住所に受講票・請求書等をお送りします。また受講にあたってのご連絡はご担当者様あてにいたしますので必ずご記入ください。 会社ご住所 〒　－		
	ご担当者名　　所属部署名		
	TEL	FAX	メール
企業情報 該当に☑印	業　種 □金属製品製造業　□非鉄金属製造業　□一般機械器具製造業 □電気機械器具製造業　□電子部品・デバイス・電子回路製造業 □その他製造業（　　）□情報通信業　□建設・設備工事業 □卸売業・小売業　□その他（　　）	社員数 □１～29人　□30～99人 □100～299人　□300～499人 □500～999人　□1000人以上	

● 会社の代表者の方（事業主、営業所長、工場長等）にアンケートへのご協力をお願いしております。

（2）個人でお申込みの場合（受講書類、請求書等は下記のご住所にお送りいたします）

ご連絡先	お名前	ご住所 〒　－	
	TEL	FAX	メール

【個人情報の取扱いについて】

※独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の在職者訓練や関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

機構使用欄	処理D	処理E	返信	処理S
	／	／	／	／

※訓練内容あるいは安全面などご不明な点がございましたらあらかじめご連絡ください。
※受講可否につきましては、ご記入していただきましたFAX番号宛にご回答を送付いたします。

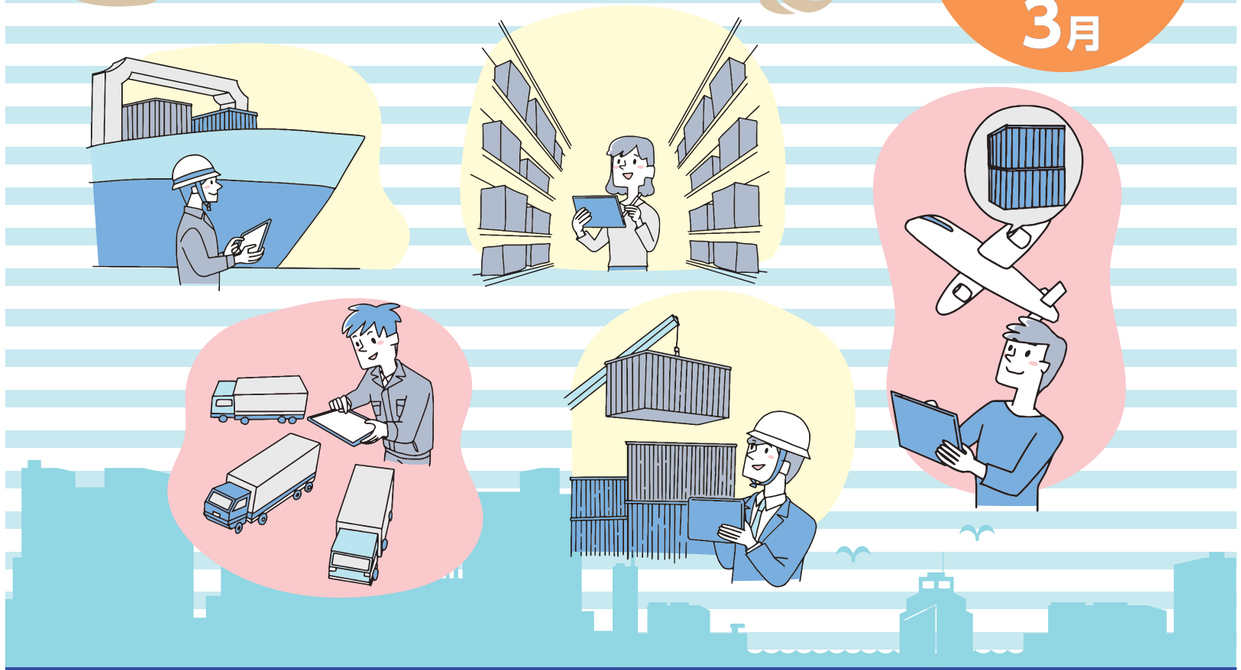
令和８年発行

生産性向上に向けた従業員教育のための

2026年度

在職者訓練コースガイド

2026年4月 ▼ 2027年3月



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部

港湾短大校神戸校

（港湾職業能力開発短期大学校 神戸校）

2026年度版

在職者訓練コースガイド



●お申込みからご受講までの流れ …… 1

●コース一覧 …… 2～3

　●生産管理・物流管理コース …… 4～9

　●電気電子・回路設計コース …… 9～10

●ご利用者の声 …… 11

●オーダーメイドコースのご案内 …… 12

●施設・設備のご利用について …… 13

●生産性向上支援訓練のご案内 …… 14

●生産性向上支援訓練コースリスト …… 15

●事業主推薦制度のご案内 …… 16

●会場ご案内

　港湾短大校神戸校

　（港湾職業能力開発短期大学校　神戸校） …… 17

●在職者訓練受講申込書 …… 裏表紙

お申込みからご受講までの流れ



❶お申込み　(FAX または E-mail)

本誌裏表紙の『在職者訓練受講申込書』に必要事項をご明記の上、当校あてFAXまたはE-mailでお申込みください。なお、『在職者訓練受講申込書』は当校ホームページよりダウンロードもできます。

※当校ホームページにExcel版、Word版の『在職者訓練受講申込書』がございますのでご利用ください。

※令和8年度途中より、全国統一のWeb受付システムが稼働する予定です。詳しくは、当校ホームページ上でお知らせいたします。

❷ご回答

受講可否につきましては、『在職者訓練受講申込書』にご記入いただきました連絡先へFAX等にてご回答をお送りします。

キャンセル待ちについて

「キャンセル待ち」となった方には定員に空きが出次第、電話またはFAX等にてご連絡をします。開始日までに連絡がない場合は、定員に空きが出なかったものとしてご了承ください。

❸受講案内の送付　開始日３週間前

コース開始日の原則21日前までに郵送いたします。(開始日の10日前までにお手元に届かない場合は、お手数ですが当校までご連絡ください)受講案内には、**受講票、請求書等**が同封されています。

※受講者を変更したい場合、同一の企業・団体内でのお申込みであれば、変更が可能です。この場合は、必ず電話連絡の上、FAXまたはE-mailでご連絡ください。

キャンセルについて

必ず**開始日の14日前(土日祝日を含む)までに**電話連絡の上、FAXまたはE-mailでご連絡ください。**14日を過ぎたキャンセルにつきましては、受講料を全額ご負担いただきますが**、後日コースで使用したテキストを送付いたします。

コースの中止について

定員に対し、コース開始日原則**14日前までに著しく受講者が少ない場合、コースを中止する**場合があります。中止の際はこちらから電話またはFAX等にてご連絡をいたします。

❹ご入金　開始日２週間前

原則、**開始日14日前(土日祝日を含む)までに**ご入金をお願いします。受講料は、消費税込みです。なお、振込手数料は別途ご負担ください。

コースをキャンセルされる場合は必ず14日前までにご連絡をお願いいたします(左記「キャンセルについて」参照)。

※現金でのお支払いは受付けておりません。

❺セミナー当日

在職者訓練コースガイドに明記されている持ち物をお持ちになり、お越しください。玄関ホールの案内板等にてコースの開催場所をご覧の上、会場をご確認ください。会場はコース開始時間の30分前から開いております。

なお、講師は原則、当校の指導員となりますが、一部外部講師が担当いたします。詳細につきましてはお問い合わせください。

アンケートのご協力について

全てのコースについて、受講者及びその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査の回答をお願いしております。なお一部のコースにつきましては、後日、コース内容の活用状況についても同様にお願いしております。ご協力のほど、お願いします。

注意事項

下記の方の受講申込をお断りすることがございます。

・頻繁にキャンセルされる個人、事業所等

・キャンセルのご連絡をいただけない個人、事業所等

・受講に際し、受講態度に何らかの問題があった個人、事業所等

お　申　込　先

港湾短大校神戸校(港湾職業能力開発短期大学校神戸校)　〒650-0045　神戸市中央区港島8-11-4

FAX　078-303-7335

E-mail:kobe-college03@jeed.go.jp

(個人情報をお送りいただくので、送信先相違のないようご注意ください。)

お問い合せ先　TEL 078-303-7326

ホームページ:　港湾短大校神戸校　検索

コース一覧

分類	コース番号	コース名	頁	日数	実施時間	定員	受講料
生産管理・物流管理コース	C111	在庫管理システムの管理精度維持と進め方	4	2日間	9：30～16：30	15名	8,000円
	C112		4	2日間	9：30～16：30	15名	8,000円
	C121	製造業におけるデータベース活用技術	4	3日間	9：30～16：30	10名	13,000円
	C131	ロジスティクス・システムの設計と演習	5	2日間	9：30～16：30	15名	8,000円
	C132		5	2日間	9：30～16：30	15名	8,000円
	C151	実践貿易実務	5	2日間	9：30～16：30	20名	5,000円
	C152		5	2日間	9：30～16：30	20名	5,000円
	C161	実践貿易実務（書類作成編）	6	2日間	9：30～16：30	15名	5,000円
	C171	物流ABC（活動基準原価計算）による倉庫管理	6	2日間	9：30～16：30	15名	8,000円
	C181	ものづくり企業のSCMとロジスティクス	7	2日間	9：30～16：30	15名	8,000円
	C191	港湾荷役技能者・技術者のための安全管理（コンテナ編）	7	2日間	9：30～16：30	15名	5,000円
	C192		7	2日間	9：30～16：30	15名	5,000円
	C193		7	2日間	9：30～16：30	15名	5,000円
	C211	港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	8	2日間	9：30～16：30	10名	7,500円
	C212		8	2日間	9：30～16：30	10名	7,500円
	C221	港湾運送業におけるドローンを活用した安全衛生管理	8	2日間	9：30～16：30	10名	12,000円
	C222		8	2日間	9：30～16：30	10名	12,000円
	C231	VRを用いた安全教育教材の製作（AR編）	9	2日間	9：30～16：30	10名	7,500円
電気電子・回路設計コース	C311	製造現場におけるLAN活用技術（サーバ編）	9	2日間	9：30～16：30	10名	7,500円
	C321	有接点シーケンス制御の実践技術	10	2日間	9：30～16：30	10名	13,000円
	C322		10	2日間	9：30～16：30	10名	13,000円

実施日											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			8(水) 9(木)								
										17(水) 18(木)	
				19(水) 20(木) 21(金)							
			23(木) 24(金)								
										25(木) 26(金)	
					24(木) 25(金)						
											11(木) 12(金)
						1(木) 2(金)					
						21(水) 22(木)					
		11(木) 12(金)									
27(月) 28(火)											
		23(火) 24(水)									
						13(火) 14(水)					
		25(木) 26(金)									
						8(木) 9(金)					
				3(月) 4(火)							
											15(月) 16(火)
											16(火) 17(水)
								17(木) 18(金)			
				5(水) 6(木)							
										17(水) 18(木)	

コース番号 C111
実施日 2026/7/8,9

コース番号 C112
実施日 2027/2/17,18

生産管理・物流管理コース

在庫管理システムの管理精度維持と進め方

訓練の目標

在庫管理の生産性向上をめざしたい方へおすすめ

最適化（改善）に向けた在庫管理システムの構築を通して、正しい在庫管理業務の意義と役割を認識し、在庫管理精度を維持する方法や生産管理システムの計画情報との連動方法について習得します。

訓練内容

1. 企業における在庫政策
   ・企業の業態に伴う在庫政策の違いほか
2. 在庫管理業務と管理システム
   ・在庫管理の各業務と、管理システム機能ほか
3. 在庫管理システム事例
4. 在庫管理システム運営手法（グループ学習）



受講料：8,000 円　**定員：**15

持参品：筆記用具・自社在庫管理事例または管理システム事例

使用機器・使用ソフト：ー

コース番号 C121
実施日 2026/8/19,20,21

生産管理・物流管理コース

製造業におけるデータベース活用技術

訓練の目標

大量のデータをデータベース化して有効活用してみませんか?

データベースソフトを活用して、大量のデータから必要なデータを抽出、重要なデータに加工するなど、データを有効活用するためのデータベース構築技術を習得します。

訓練内容

1. データベース概要及び設計
2. データベースの構築（テーブルとリレーションシップの作成）
3. データの抽出（抽出クエリ）
4. データの加工（抽出クエリ、アクティブクエリ）
5. データの分析（クロス集計クエリ）
6. フォームの作成とデータ入力
7. レポートの作成と印刷



受講料：13,000 円　**定員：**10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、データベースシステム（使用ソフト：Microsoft Access）、テキスト

コース番号 C131
実施日 2026/7/23,24

コース番号 C132
実施日 2027/2/25,26

生産管理・物流管理コース

ロジスティクス・システムの設計と演習

訓練の目標

ロジスティクスを通して需要連動化や最適化の手法を習得したい方へ

原価管理/在庫管理における生産性の向上をめざして、需要連動化に向けたロジスティクス・システムに係るプロセスや課題解決の実習をとおして、プロセスマネジメントの見地からロジスティクスを理解し、調達から生産、物流にいたるプロセスのロジスティクスの需要連動化が実現できる手法を習得します。

訓練内容

1. ロジスティクス・システム
   ・経営戦略、企業課題、ロジスティクスほか
2. ワークデザイン
   ・リードタイム、在庫政策、ロジスティクス・コスト
3. ロジスティクス・プロセスの設計
   ・業務フロー図、ものと情報の流れ図ほか
4. ロジスティクス・システムの設計と演習（グループ学習）



受講料：8,000 円　**定員：**15

持参品：筆記用具・対象としたい荷主業務に関する業務フロー図

使用機器・使用ソフト：ー

コース番号 C151
実施日 2026/9/24,25

コース番号 C152
実施日 2027/3/11,12

生産管理・物流管理コース

実践貿易実務

訓練の目標

貿易実務について全般的に知りたい方へ

貿易の流れや貿易取引固有の業務について、経験の浅い方が実務に役立てられる基盤となる知識を習得します。海貨業や国際物流業の方はもちろん、製造業において輸出入に係わる方にもおすすめです。

訓練内容

1. 貿易実務概要
2. 売買契約と代金決済
3. 貨物海上保険、貿易保険
4. インコタームズ
5. 貿易書類
6. まとめ



受講料：5,000 円　**定員：**20

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号
C161
実施日
2026/10/1,2

生産管理・物流管理コース

実践貿易実務(書類作成編)

訓練の目標

何となく扱っていた貿易書類の意味を知りたい方へおススメ

貿易書類に視点を置いて、基礎となる貿易実務の知識、各書類の役割と内容について理解を深め、書類業務の知識の習得を目指します。海貨業、物流業、製造業など輸出入に係わる方におすすめです。

訓練内容

1. 貿易実務の概要と.各書類の役割
2. 貿易書類演習（読み取り）
3. 貿易書類演習（作成）
4. まとめ



受講料：5,000 円　**定員：**15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ー

コース番号
C171
実施日
2026/10/21,22

生産管理・物流管理コース

物流ABC(活動基準原価計算)による倉庫管理

訓練の目標

物流作業ごとの改善効果の可視化をしてみませんか?

物流作業の効率化、適正化、最適化(改善)に向けた物流ABCによる物流活動コストの把握及び無駄削減の理解を通して、物流データの分析手法及びコスト管理手法を習得します。

訓練内容

1. 物流ABC概要
2. 物流ABCの目的
3. 物流ABCの原理
4. コスト管理
5. 事例研究
6. まとめ

物流ABC：物流活動基準原価計算



受講料：8,000 円　**定員：**15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号
C181
実施日
2026/6/11,12

生産管理・物流管理コース

ものづくり企業のSCMとロジスティクス

訓練の目標

SCMの強化、ロジスティクス業務の改善を考えている方へ

ものづくり企業の生産性の向上を目指して、事業観点・SCM視点から、効率化、需要連動化、最適化(改善)、高付加価値化の課題を把握し分析する手法および改善演習を通して、ロジスティクス分野で取組むべき課題解決に必要な技能・技術について習得します。

訓練内容

1. ものづくり企業のSCM
   - ・ものづくり企業を取り巻く環境変更に伴う企業経営
   - ・SCMとは何か、SCM強化による競争力向上
2. SCMとロジスティクス
   - ・企業経営とロジスティクスの位置づけ
   - ・企業のロジスティクスの課題とその解決
3. ロジスティクス業務の改善活動
   - ・業務改善の進め方と改善好事例のご紹介
   - ・課題抽出と要因分析（グループ学習）



受講料：8,000 円　**定員：**15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号
C191
実施日
2026/4/27,28

コース番号
C192
実施日
2026/6/23,24

コース番号
C193
実施日
2026/10/13,14

生産管理・物流管理コース

港湾荷役技能者・技術者のための安全管理(コンテナ編)

訓練の目標

プランの見方及びスタッカーの種類と数え方

コンテナヤードや本船での荷役業務をする上で欠かすことのできないプラン。
プランの見方を理解し、ツイストロック(スタッカー)等の緊締装置を種類の違い別に準備できる知識を習得します。
また、本船作業やヤード作業において、危険個所を理解し、危険予知ができる知識を習得します。

訓練内容

1. 神戸港の概要
2. コンテナ荷役
   （沿岸荷役作業）
   - ・コンテナターミナル内の主な施設と役割
   - ・蔵置ベイの呼び名

   （船内荷役作業）
   - ・プランの見方
   - ・ツイストロック（スタッカー）の種類と数え方
3. 安全衛生管理
   - ・沿岸荷役作業
   - ・船内荷役作業



受講料：5,000 円　**定員：**15

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン

コース番号 C211
実施日 2026/6/25,26

コース番号 C212
実施日 2026/10/8,9

生産管理・物流管理コース

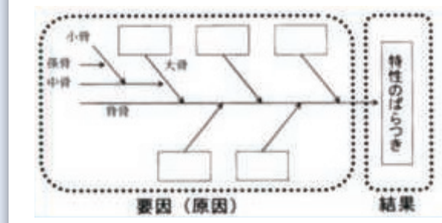
港湾荷役技能者･技術者のための安全衛生

訓練の目標

港湾荷役における安全衛生の現場強化力をめざして、技能高度化に向けた作業特性やヒューマンエラーの発生のメカニズムを理解し、リスクアセスメント現場演習及び危険予知･体験実習を通して、エラー低減に必要な防止策を策定する能力を習得します。

訓練内容

1. 労働安全衛生の意義
2. 労働安全衛生法と他の法律
3. 労働災害の発生状況
4. 港湾における労働災害事例から学ぶ
5. ヒューマンエラーを理解する
6. 労働災害要因分析（グループワーク）
7. リスクアセスメント（グループワーク）



受講料：7,500 円　**定員：**10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ー

コース番号 C221
実施日 2026/8/3,4

コース番号 C222
実施日 2027/3/15,16

生産管理・物流管理コース

港湾運送業におけるドローンを活用した安全衛生管理

訓練の目標

港湾地域についてドローンを飛ばすことを前提に、飛行に関する法律･ルールの知識や、許可申請の方法などを習得します。また、ドローンの機体を用いて実際に操縦を行います。最後にドローンを用いた港湾現場での活用などを紹介します。

訓練内容

1. ドローンの基礎知識
2. ドローンの活用コスト
3. ドローンに関する法律・ルール（法改正を含む）
4. ドローンの許可申請
5. ドローンの飛行実習
   (1) 操縦時の注意点　(2) 整備・点検　(3) 操縦
6. ドローン技術を用いた安全衛生管理
7. まとめ・質疑応答

※ドローンの飛行実習については、屋内で行います。



受講料：12,000 円　**定員：**10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：ドローン

コース番号 C231
実施日 2027/3/16,17

生産管理・物流管理コース

VRを用いた安全教育教材の製作（AR編）

訓練の目標

安価に！手軽に！自社独自の動画教材の作成方法を学んでみませんか？

360度カメラで撮影した映像をAR（拡張現実）動画として、安価で実際の職場に即した効果的な、安全教育の教材作成能力を習得します。

訓練内容

1. 災害事例
2. ヒューマンエラーのメカニズム
3. 危険予知訓練
4. AR動画作成、視聴
5. まとめ



受講料：7,500 円　**定員：**10

持参品：筆記用具、スマートホンまたはタブレット

使用機器・使用ソフト：360 度カメラ、VR ゴーグル、パソコン、動画編集ソフト

コース番号 C311
実施日 2026/12/17,18

電気電子・回路設計コース

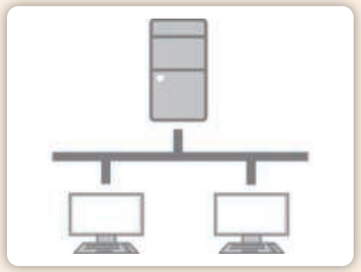
製造現場におけるLAN活用技術（サーバ編）

訓練の目標

製造業等の中小企業においてLANを活用し、作業の効率化･生産性の向上をめざして、LANに関する知識とLAN構築に関する技術を習得します。

訓練内容

1. ネットワーク概要
   （ネットワークの概要とプロトコル、ネットワークの種類と構成ほか）
2. プロトコルの概要と設定
   （Ethernetプロトコル、TCP/IPプロトコルほか）
3. ネットワーク機器の役割
   （ハブ、ルータ、スイッチ）
4. サーバOSの初期設定
5. LAN構築実習
   （情報の一元管理、共有、転送）



受講料：7,500 円　**定員：**10

持参品：筆記用具

使用機器・使用ソフト：パソコン、VirtualBox、Windows Server

コース番号 C321
実施日 2026/8/5,6

コース番号 C322
実施日 2027/2/17,18

電気電子・回路設計コース

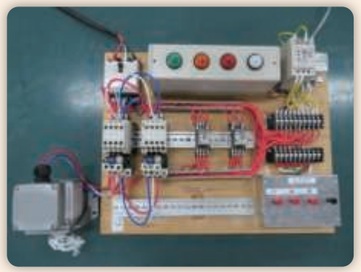
有接点シーケンス制御の実践技術

訓練の目標

有接点シーケンス制御の制御機器の種類と機能を理解し、電動機制御回路の配線作業を通して、制御盤組立の実務能力を習得します。

訓練内容

1. シーケンス制御の概要
2. 制御機器の種類と機能
   （電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、
   スイッチ、その他制御機器）
3. 主回路と制御回路
   （回路図の読み方、機器の配置と接続方法）
4. 配線作業
   （自己保持回路、インターロック回路、
   随時運転回路、可逆運転回路）



受講料：13,000 円　**定員：**10　**持参品：**筆記用具

使用機器・使用ソフト：配線遮断器、電磁接触器、電磁継電器、サーマルリレー、スイッチ、ランプ、電動機、テスタ、工具一式

ご利用者の声

受講者　事業主　企業の教育担当者

コース名	ご利用者様の声
実践貿易実務	◆普段の業務では、セミナーのように細かい内容を知ることが出来なかったので今日知識を深めることが出来、大変役に立つことができました。（受講者様） ◆貿易の全体的な流れを理解することができ、実務とのつながりを把握することができました。（受講者様） ◆輸出入業務を実施のみで行ってきていたので、体系的に理解できた。（受講者様） ◆知識が向上したことで、業務がスムーズになりました。（事業主様）
在庫管理システムの管理精度維持と進め方	◆課題解決のための考え方や手法について学ぶ事ができ、業務に活かせると考えています。（受講者様） ◆システム導入により問題点などの解決につながる。（受講者様） ◆担当業務以外の改善方法等を学ぶことができました。（受講者様） ◆適正在庫の考え方の向上が図れた。（事業主様）
港湾荷役技能者・技術者のための安全管理（コンテナ編）	◆新入社員でまだまだ知識が浅かったけれど、今回で知識がだいぶ身についたと感じました。（受講者様） ◆現場で即戦力になる知識を得ることができた。（受講者様） ◆現場に特化した受講であった。（事業主様）
製造現場における LAN 活用技術（サーバ編）	◆普段の業務は作業として覚えてこなしている部分もありましたが、今回の講義で理論的に理解することが出来て非常に役立ちました。（受講者様） ◆今まで理解できていなかった仕組みや今まで知らなかった設定を、体験することで知ることができました。（受講者様） ◆知識を習得する機会を得られ、教育不足となりうる項目を学ぶことができました。（事業主様） ◆社内ネットワークのトラブル解決につながった。（事業主様）
ものづくり企業の SCM とロジスティクス	◆生産側からしか見ていなかった。業務改善からサプライチェーン全体を見る意味や実施方法を学べました。（受講者様） ◆演習が本格的で会社に戻っても実践できると思います。（受講者様） ◆講義の中で、実際に議題を設定し解決をしていく上で考えが深まりました。（受講者様）
有接点シーケンス制御の実践技術	◆保全業務を行っていますので、トラブル時や設備修繕時に役立つ知識を得ることができました。（受講者様） ◆座学だけではなく実際に回路を組んで動作を確認できたのがよかった（受講者様） ◆制御回路の原理をより深く、明確に理解させてくれました。専門知識に自信を持てるようになり、仕事の効率も向上すると思います。（受講者様） ◆生産現場での電気あるいは機械的トラブルに対し自らか解決するのだという意識付けになった。（事業主様）
港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	◆事故が起きたことを理論的に解決の仕方が勉強になりました。（受講者様） ◆事故対策会議を開く際の手法を学べ、大変勉強になりました。（受講者様） ◆特性要因図やリスクアセスメントの手法を学ぶことができスキルアップとなりました。（受講者様） ◆安全面の部分を学べて意識の向上につながった。（事業主様）

オーダーメイドコースのご案内

貴社のニーズに合わせた従業員の育成にご活用ください!!

港湾短大校神戸校では貴社のニーズ(内容・日程・時間・場所等)に合わせたオーダーメイドコースを実施しています。また、本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)



■オーダーメイドコースのメリット

◎ご希望の日程をご相談の上、コースの設定ができます。
◎事業主・事業主団体の皆様のニーズに対応した、効果的な人材育成が可能となります。
◎講師、機器、研修会場等の心配が要りません。

■オーダーメイドコース計画のポイント

◎会場は原則当校となりますが、別会場での実施を希望される場合はご相談ください。
◎定員は原則10名となりますが、10名未満の場合でも、まずご相談ください。
◎１コースの訓練時間は12時間以上です。(実施日、時間帯等の調整は可能です。)
◎受講料は、諸経費を含めてお一人様単位でご提示します。
(受講料は、本冊子に掲載している料金を参考にしてください。なお、振込手数料は、別途ご負担ください。)
※内容・日程等により、実施できない場合もございますのでご了承ください。

■ご相談から実施までの流れ

1) お電話等いただければ、当校職員が貴社のニーズをお伺いしたうえで、オーダーメイドコースのカリキュラムを提案させていただきます。
2) 内容、実施日程、人数等が決まれば、経費(見積り)をご提案します。
3) お客様のご了解がいただければ、実施となります。



■オーダーメイドコースの例

分　類	コース名	内　容
教育・安全	港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生	港湾荷役における安全衛生の現場力強化をめざして、技能高度化に向けた作業特性やヒューマンエラーの発生のメカニズムを理解し、リスクアセスメント現場演習及び危険予知・体験実習を通して、エラー低減に必要な防止策を策定する能力を習得します。

・本冊子に掲載しているコースは原則オーダーメイドコースとして計画できます。(ただし、計画できないコースもございますので、予めご了承ください。)
・お一人様の受講料(税込)は、教材及び当校が定める諸経費を含めてご提示します。

受講者の声 (港湾荷役技能者・技術者のための安全衛生)

・今回習ったことを部下に伝達し展開したいです。
・これまでも問題を解決してきましたが、新しく学んだ技能・技術で時間短縮できます。
・特性要因図やリスクアセスメントの手法を学ぶことができスキルアップになりました。
・特性要因図は知っていましたが、作成知識がありませんでしたので勉強になりました。
・知識を身につけることによって、行動が広がると思いました。
・過去に学んだ事はありますが、活かせていませんでした。今回、再認識し活用しようと思います。

施設・設備のご利用について


大教室


クレーン実習場


自動車等運転実習場

事業主や事業主団体の皆様が職業能力開発や人材育成を目的とした従業員教育や研修を実施される場合、教室などの施設及び実習場の設備・機器などが有料にてご利用いただけます。(当校が使用していない場合に、あらかじめ決められた教室や実習場等のみご利用いただけます。)

■ご利用いただける施設・設備

令和8年4月1日　港湾職業能力開発短期大学校神戸校

教室・実習場名	一時間当たり使用料金 (円)			備　考
	通常期	冷房使用時 7～9月	暖房使用時 12～3月	
会議室	50円／1H	100円／1H	100円／1H	収容人員30名
大教室	50円／1H	100円／1H	100円／1H	収容人員60名
クレーン実習場	400円／1H	1,000円／1H	1,000円／1H	
天井クレーン	1,050円／1H			
視聴覚機器	50円／1H			
自動車等運転実習場	7,000円／1H			

※別途1時間あたり650円(税込)の施設管理費が必要になります。
※個人への貸出しは行っておりません。

■お申込み方法

1．ご利用を希望される場合は、事前に予約状況等についてお電話にてご確認ください。
2．所定の様式(施設設備使用申請書)に必要事項をご記入の上、お申込みください。『施設設備使用申請書』は当校のホームページからダウンロードできます。(港湾短大校神戸校 HP→事業主・企業の方へ→施設・設備等の貸出)
3．お申込み後、内容等をご確認の上、文書(「施設設備使用承諾通知書」・「請求書」等)をお送りします。使用料はご使用日の一週間前までに当校指定の銀行口座にお振込みください。

■ご利用時間

平　　日　9：00～17：00　　土日祝日　9：00～17：00

■キャンセル

お申込みを取り消される場合は速やかにご連絡ください。(使用１週間前までのキャンセルについては返金いたします。それ以後のキャンセルについては返金は致しかねます。)

■その他

ご使用の際の準備・後片付け・清掃等(現状回復) は会場責任者の方が責任を持って行ってください。状況によっては以後のご使用をお断りする場合がありますのでご注意ください。なお、当校に起因するものを除き、使用中の事故、トラブルについては一切責任を負いませんのでご注意ください。(使用上の注意については「施設設備使用承諾通知書」に記載してあります。)

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練です。
全国のポリテクセンター等に設置した生産性向上人材育成支援センターが、専門的知見を有する民間機関等と
連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応した訓練を実施します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得!

・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、**あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラム**を用意（全134コース（'26.4月））

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能!

・**自社会議室等を訓練会場とすることが可能**（企業に講師を派遣します）
・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定!

・受講料は1人あたり**2,200円～6,600円**（税込）
・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

（2024年度実績） 受講者数 **2,636人** 利用した企業数 **667社** 受講者評価(業務への役立ち度) **97.3%**

訓練受講までの流れ

課題や方策の整理 センター担当者が企業を訪問し、人材育成に関する課題や方策を整理します。

訓練コースのコーディネート 相談内容を踏まえて、課題やニーズに応じた訓練コースを提案します。

・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。 ・生成AIを活用して業務のスピードを高めたい。 ・テレワークを導入して業務を効率化したい。	分野・コース	生産管理、流通・物流、バックオフィス　など ・生産現場の問題解決　・生成AIの活用 ・テレワークを活用した業務効率化　など
・従業員の仕事の効率化を促進したい。 ・リスクを低減させる方法を学びたい。 ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。	分野・コース	リスクマネジメント、組織力強化、生涯キャリア形成　など ・成果を上げる業務改善　・リスクマネジメントによる損失防止対策 ・作業手順の作成によるノウハウの継承　など
・顧客満足度の向上を図りたい。 ・消費者の動向を営業に活用したい。 ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。	分野・コース	営業・販売、マーケティング、プロモーション　など ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善 ・提案型営業手法　・提案型営業実践　など
・データ集計の作業を効率化したい。 ・マクロを使って定型業務を自動化したい。 ・SNSを使って効果的な情報発信をしたい。	分野・コース	ネットワーク、データ活用、情報発信　など ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化 ・SNSを活用した情報発信　など

訓練受講 所定の期日までに受講料の支払い等の手続を行い、訓練を受講してください。

※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部
ポリテクセンター兵庫　生産性向上人材育成支援センター
〒661-0045　兵庫県尼崎市武庫豊町3-1-50
TEL：06-6431-8205（生産性センター業務課）　FAX：06-6431-7285　ポリテクセンター兵庫

～生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）は、事業主の皆様の生産性向上に向けた人材育成を支援しています～（2025.12）

生産性向上支援訓練 コースリスト

2025年10月版　Ver.19

A：生産・業務プロセスの改善

生産管理		048	ものづくりの仕事のしくみと生産性向上
		001	生産性分析と向上
		002	生産現場の問題解決
		003	生産性向上のための課題とラインバランシング
		004	生産計画と工程管理
		005	サービス業におけるＩＥ活用
	DX	129	製造分野におけるDX推進
		006	原価管理とコストダウン
	DX	007	在庫管理システムの導入
		134	在庫管理の進め方
		008	購買・仕入れのコスト削減
	DX	009	ＰＯＳシステムの活用技術
品質保証管理		010	品質管理基本
		011	品質管理実践
		053	サービスマネジメントによる品質改善と向上
流通・物流	DX	015	３ＰＬとＳＣＭ
	DX	016	物流のＩＴ化
	DX	013	流通システム設計
	DX	014	物流システム設計
	DX	012	卸売業・サービス業の販売戦略
	DX	017	ＳＣＭの現状と将来展望
バックオフィス	DX	018	クラウド活用入門
	DX	019	ＩｏＴ活用によるビジネス展開
	DX	020	クラウドを活用したシステム導入
	DX	021	ＩｏＴ導入に係る情報セキュリティ
	DX	054	クラウドを活用した情報共有能力の拡充
	DX	087	導入コストを抑えるクラウド会計・モバイルPOSレジ活用
	DX	083	テレワークを活用した業務効率化
	DX	088	テレワーク活用
	DX	130	経理業務の効率化につながるDXの実践
	DX	056	ＩＴツールを活用した業務改善
	DX	089	データ活用で進める業務連携
	DX	090	失敗しない社内システム導入
	DX	091	企業内でＩＴ活用を推進するために必要な技術理解
	DX	092	企業内でＩＴ活用を推進するために必要なマネジメント
	DX	117	DX（デジタルトランスフォーメーション）の導入
	DX	118	ベンダーマネジメント力の向上
	DX	093	ＩＴ新技術による業務改善
	DX	094	ＡＩ（人工知能）活用
	DX	132	生成ＡＩの活用
	DX	095	ビッグデータ活用
	DX	055	ＲＰＡを活用した業務効率化・コスト削減
	DX	096	ＲＰＡ活用
	DX	119	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
	DX	120	データサイエンス入門
		131	GX（グリーントランスフォーメーション）の推進
	DX	133	Ｐｙｔｈｏｎを活用した事務業務の効率化
		037	企業価値を上げるための財務管理

B：横断的課題

組織マネジメント	DX	022	IoTを活用したビジネスモデル
		084	ダイバーシティ・マネジメントの推進
	DX	121	ビジネスとSDGs（持続可能な開発目標）の融合
		038	事故をなくす安全衛生活動
		023	個人情報保護と情報管理
		064	高年齢労働者のための安心・安全な職場環境の構築
		039	リスクマネジメントによる損失防止対策
		059	災害時のリスク管理と事業継続計画
	DX	040	ｅビジネスにおけるリーガルリスク
	DX	057	ネット炎上時のトラブル対応
		024	ナレッジマネジメント
		025	知的財産権トラブルへの対応（１）
		026	知的財産権トラブルへの対応（２）
		058	現場社員のための組織行動力向上
		041	業務効率向上のための時間管理
		062	顧客満足度向上のための組織マネジメント
		060	企画力向上のための論理的思考法
		042	成果を上げる業務改善
		043	組織力強化のための管理
		061	職場のリーダーに求められる統率力の向上
組織マネジメント		051	管理者のための問題解決力向上
		044	プロジェクト管理技法の向上
		052	プロジェクトマネジメントにおけるリスク管理
		065	継続雇用者のキャリア形成と管理者の役割
		085	従業員満足度の向上
		086	ストレスチェック制度を用いた職場環境改善と生産性向上
		097	ムダを発見するための業務プロセスの見える化と業務改善
	DX	122	テレワーク業務における労務管理
	DX	126	DX人材育成の進め方
		127	物流現場のリーダー育成
		128	ファシリテーションを活用した合意形成の効率化
生涯キャリア形成		066	中堅・ベテラン従業員のためのキャリア形成
		067	チームカの強化と中堅・ベテラン従業員の役割
		068	後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
		069	中堅・ベテラン従業員による組織の活性化のための相談技法
		070	ＳＮＳを活用した相談・助言・指導
		071	フォロワーシップによる組織力の向上
		072	経験を活かした職場の安全確保（未然防止編）
		073	経験を活かした職場の安全確保（対策編）
		074	クラウドを活用したノウハウの蓄積と共有
		075	職業能力の整理とノウハウの継承
		076	職業能力の体系化と人材育成の進め方
		077	経験に基づく営業活動の見える化と継承
		078	効果的なＯＪＴを実施するための指導法
		079	ノウハウの継承のための研修講師の育成
		080	作業手順の作成によるノウハウの継承
		081	若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（実施編）
		082	若手従業員に気づきを与える安全衛生活動（点検編）

C：売上げ増加

営業・販売		049	提案型営業手法
		063	ビジネス現場における交渉力
		050	提案型営業実践
	DX	027	マーケティング志向の営業活動の分析と改善
	DX	028	統計データ解析とコンセプトメイキング
	DX	123	オンライン営業技術
	DX	029	顧客分析手法
	DX	045	顧客満足向上のためのＣＳ調査とデータ分析
マーケティング		030	実務に基づくマーケティング入門
		031	マーケティング戦略概論
		032	マーケット情報とマーケティング計画（調査編）
		033	マーケット情報とマーケティング計画（販売編）
	DX	046	インターネットマーケティングの活用
企画・価格		034	製品・市場戦略
		035	新サービス・商品開発の基本プロセス
プロモーション	DX	036	プロモーションとチャネル戦略
	DX	047	チャンスをつかむインターネットビジネス

D：ＩＴ業務改善

ネットワーク	DX	098	ワイヤレス環境に必要となる無線LANとセキュリティ
	DX	099	社内ネットワークに役立つ管理手法
データ活用	DX	100	表計算ソフトを活用した業務改善
	DX	101	業務に役立つ表計算ソフトの関数活用
		102	表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化
	DX	103	効率よく分析するためのデータ集計
	DX	104	ピボットテーブルを活用したデータ分析
	DX	105	品質管理に役立つグラフ活用
	DX	106	表計算ソフトを活用した統計データ解析
	DX	107	表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
	DX	108	データベースを活用したデータ処理（基本編）
	DX	109	データベースを活用したデータ処理（応用編）
	DX	110	データベースを活用した高度なデータ処理
	DX	111	業務効率を向上させるワープロソフト活用
情報発信	DX	112	相手に伝わるプレゼン資料作成
		113	集客につなげるホームページ作成
	DX	114	ＳＮＳを活用した情報発信
	DX	124	オンラインプレゼンテーション技術
セキュリティ・倫理	DX	115	脅威情報とセキュリティ対策
	DX	116	情報漏えいの原因と対応・対策
	DX	125	テレワークに対応したセキュリティ対策

※　「ＤＸ」を付しているコースは、ＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）の推進に必要な知識・技能を習得するための訓練コースです。

事業主推薦制度のご案内

事業主推薦制度は、事業主からご推薦いただいた従業員の方々を対象とした入校試験制度です。
港湾短大校神戸校の港湾流通科・港湾技術科では、将来、港湾・貿易・物流分野で活躍する方々に当校の高度な教育訓練をご受講していただき、生産性向上に取り組む企業の人材育成を応援します。

【企業の人材育成ニーズ】

- ☑ 高校を卒業した社員にじっくりと教育訓練を受けさせたい!
- ☑ 若手・中堅社員に実践的な知識と技術を身につけさせたい!
- ☑ 将来、現場の責任者となるような人材を育てたい!

社員を港湾職業能力開発短期大学校神戸校(略称：港湾短大校神戸校)へ

港湾流通科



4月入校

取得可能な資格や免許

- 貿易実務検定
- 通関士
- STC Associate(安全保障輸出管理実務能力認定試験)初級
- ビジネス・キャリア検定/3級ロジスティクス・オペレーション
- ビジネス・キャリア検定/3級ロジスティクス管理
- Microsoft Office Specialist(Excel)
- フォークリフト運転技能講習※1
- 玉掛け技能講習※2

港湾技術科



4月入校

取得可能な資格や免許

- フォークリフト運転技能講習※1
- 玉掛け技能講習※2
- クレーン・デリック運転士免許
- 移動式クレーン運転士免許
- 大型特殊自動車運転免許
- 揚貨装置運転士免許

詳細は、港湾職業能力開発短期大学校神戸校
(略称:港湾短大校神戸校)

港湾短大校神戸校 学務課(078-303-7326)にお問い合わせください。

もて・おて・チャレンジ!
港湾短大校
港湾短大校神戸校 検索

※1　兵庫労働局長登録教習機関第200号　　※2　兵庫労働局長登録教習機関第201号

会場ご案内



港湾短大校神戸校
(港湾職業能力開発短期大学校　神戸校)

〒650-0045
兵庫県神戸市中央区港島8-11-4
TEL：078-303-7326（学務課）
FAX：078-303-7335
メール：kobe-college03@jeed.go.jp
ホームページ：https://www3.jeed.go.jp/hyogo/college/

アクセス

■公共交通機関でお越しの方

○ポートライナー(神戸新交通)
・「神戸空港」行乗車、「医療センター」駅下車徒歩約10分
・「北埠頭」行乗車、「南公園」駅下車徒歩約15分

○神姫バス
・「地下鉄三宮駅前」…JR三ノ宮駅中央口の北側、(神戸空港方面のバス)N4番乗り場から乗車、「港湾短大前」下車すぐ
注)バスをご利用される場合はご乗車前に「港湾短大前」バス停に停車するかどうかのご確認をお願いします。

■お車でお越しの方

・地図黒色線に従って、次の曲がり角で左折する。
※約100mで当校正門となります(駐車場あり)

